



かみっこ



園児、児童お茶摘み体験

秦野市立上小学校長・幼稚園長 中村 克己

TEL 88-0274 FAX 87-3809



5月6日（木）3校時に園児、1，2年生がお茶摘みをさせていただきました。今年は暖かい気候に恵まれ、順調なお茶の成長で新芽が辺り一面輝いていました。守屋様にお茶摘みの仕方やお茶の食べ方を教わり、実際にお茶摘み体験をさせていただきました。天ぷらはもちろん、ふりかけが良いとか。とても楽しくにぎやかに行うことができました。

柔らかいお茶の新芽を大切に摘み取り、持っていたザルをいっぱいにし、最後はビニル袋に入れ持ち帰りました。子ども達は大喜びでした。私は、一握りのお茶の葉を家で天ぷらにして食べました。今回も、スナック風にパリッと揚がり塩を振りかけおいしくいただくことができました。また、守屋さんからは、お茶の葉は太陽の光を浴びると、しっかり開き、新芽は柔らかく開ききっていないなどの新たな豆知識をいただきました。

守屋貞治様ありがとうございました。



5月3日（月）の連休のど真ん中に、園児と5年生が毎年米作りをさせていただいている水田の用水路整備が行われました。米づくりをサポートいただいている和田昭子さん、須藤勉さん、多田さん、和田利一さん、鶴野さん、細川さん、須藤政一さん、鈴木さん、若林さん方が、一緒に作業に参加くださいました。

これは、水田に水を引くために欠かせない作業で、水田の西側に作られた用水路の底にたまった落ち葉や枝、土砂等の撤去

水田の用水路整備・準備



作業と、通路や斜面の除草を行いました。草刈り機が先に通路や用水路内の除草を行い、続いて熊手やスコップなどの道具を使って、用水路内の落ち葉や土砂を掻きだします。直前の連絡にもかかわらず、当日は西中学校から卒業生が13名駆けつけてくれました。何分、この作業は人数がものをいうので、予定していた時間を大幅に短縮することができました。

作業後は水門を開け、いよいよ水が用水路を流れます。流れる水を追いかけて下流へ歩いていきました。やがて、この水が透き通り水田に引かれ後日代掻きが行われます。

今後の米作りは、種もみまき、田植え、草取り、稲の観察、稲刈り、脱穀などが予定されています。

生き物調査隊 / 生き物の里 木道改修



4月24日(土)に、令和元年度PTA会長の吉田直哉さん(NPO法人 丹沢自然学校理事)が、柳川生き物の里において生き物調査隊をと称し観察会を開いてくださいました。昨年度から少人数特認校により、学区外から転入してきた児童と保護者に、上地区の自然の宝庫である生き物の里のすばらしいことを伝えたいという趣旨で行いました。

絶滅危惧種ⅠB類のホトケドジョウが生息することは、神奈川県内でも珍しいそうです。また、外来種のザリガニは、生き物の里の生態系を崩すため、戻さず持ち帰るとのことでした。親子で網と入れ物をもって、用水路の底を探りドジョウ、多種のヤゴやカワナなどの水生生物を採取し、その様子を観察することができました。

参加した児童・保護者は、この生き物の里が素晴らしい「自然の宝庫」であること、ここで「採取した生き物」は、外来種のアメリカザリガニを除き持ち帰らず返すことについて教えてもらいました。

同日、上地区みんなで住みよいまちづくり運動推進委員会・柳川生き物の里管理運営委員会が中心となって、生き物の里の木道の全面改修が行われました。長年の風雨で老朽化した木道を撤去し、長持ちするように金属の土台を打ち込み、バーナーで表面を焼いた木を渡しボルトで固定しました。多くの自治会の方々やセンダンの会のお父さん、環境共生課の職員の皆様が参加して下さいました。生き物の里の新しいシンボルとして親しまれることでしょう。

地域のみなさま、昼をまたぐ作業、ありがとうございました。

